

国指定天然記念物 臥龍桜復興記

昔より「大憧寺の大桜」として親しまれ、昭和六、七年高山線工事中の頃、第二十代大喝道仙和尚が、龍が臥した姿から「臥龍桜」と命名した。当時、桜の周囲は田んぼに囲まれていた。

昭和十二年 県指定天然記念物
昭和四十八年 国指定天然記念物



昭和三十四年 九月二十六日
伊勢湾台風により、中心部の大切な枝が折れ被害甚大
平成元年 立村百年事業にて
臥龍公園整備

平成三年 九月二十七日
台風十九号により、大きな枝四本他が折れるなど大きな被害を受けた。
以来、樹勢回復、樹根復活
改善事業に約二十年間にわたり取り組み、樹勢を取戻した。

品種	エドヒガン
樹齢	一、一〇〇年
樹高	二十m
枝張り	南北三十八m
根回り	八、四m
胸高径	七、六m

注 絵の破線の部分は、枝が折れる前の姿をあらわしている。

絵 山腰曠